代田・九条の会News

第202号

2025／9／14

編　集
代田・九条の会
小澤　清子
伊東　宏

itohiroshi1007@gmail.com

ホームページ　：　http://www.daita-9jo.sakuraweb.com/

戦後80年･被爆80年･終戦記念日によせて

８月２３日（土）午後、下北沢・東京都民教会に於いて「終戦記念日によせて」のつどいを開催しました。

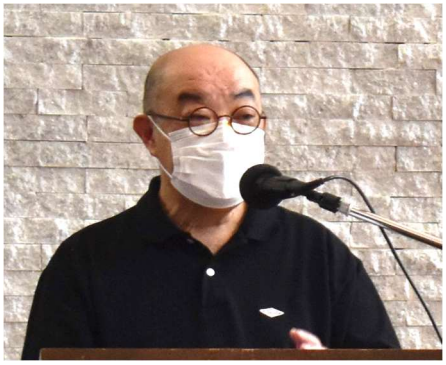
＊＊　紙芝居「原爆の子・さだ子の願い」渡辺美佐子さん

（アニマシオントイ・代表）

さだ子は、運動会の徒競走で１等をとる元気な小学生でした。８月６日、広島に米国による１発の原子爆弾投下により、２０数万人が亡くなり、さだ子も被爆を受け広島市民病院に入院。「鶴を１０００羽おると願いが叶う」と鶴を折りながら、中学校の席に着くことなく亡くなりました。旧友たちが、さだ子の死を悼み「こけしの会」をつくり、募金活動により１９５８年「さだ子の像」を建立。この話は、英訳され、折鶴とともに全世界に広がっています。

＊「アニマシオントイ」の団体名は、魂や命を活性化させるという意味を持つラテン語の「アニマシオン」と、おもちゃの「トイ」をくみあわせたものです。

＊＊　岡崎　岳さん（都民教会・牧師）のあいさつ



１９４０年（S１５年）近衛文麿首相を中心に大政翼賛会という一党独裁体制がつくられ（ナチスドイツの体制を真似たもの）、戦争遂行の必要から諸宗教団体に統合と戦争協力を国策として要請。それを受けて教団の名において、あの戦争を是認し、支持しその勝利のために祈り努めることを、内外に向って声明しました。戦後 22 年を経て１９６７年３月、「第二次世界大戦下における日本基督教団の責任についての告白」を発表しました。

岡崎牧師は「今また、国粋主義政党が前進するなど、戦前回帰に向っている状況が見受けられ注意していくことが求められています」と結ばれました。

写真撮影：小澤満吉さん

＊＊　「核なき世界を望む被爆者の思い」

家島昌志さん（日本被団協・代表理事　東友会・代表理事）

１．「ノーベル平和賞」授賞経緯と式典模様

・「ノーベル平和賞の受賞理由」には　（朝日新聞 24/10/11）

「ヒバクシャ」として知られる広島と長崎の原子力爆弾の生存者たちによる草の根運動は、核兵器のない世界の実現に尽力し、核兵器が二度と使われてはならないことを証言を通じて示してきたことに対して平和賞を受ける。

・エドモントンで「ノーモアヒロシマ」のデモに遭遇しました。

２．私の被爆体験

３歳の時に広島で被爆、後障害による父親の死と今日に至るまでの運動参加と自らの放射線障害

３．被爆者運動の歴史

国の受忍論に抗う国家補償要求と核兵器廃絶・原発廃止運動

・広島・長崎への原爆投下―１９４５年８月６日・９日

第二次世界大戦中・米国による原爆投下

・第５福竜丸事件―１９５４年３月１日

米国・ソ連の核兵器開発が進展した冷戦時代、米国がビキニ環礁で行った水爆実験場の付近に居合わせた遠洋マグロ漁船の乗組員23名が多量の放射性降（死の灰）を浴び放射線障害に。

・福島地震による・東京電力原発事故２０１１年３月１１日・１５日

東北地方太平洋沖地震とそれに伴う津波によって引き起こされた原子力発電所事故。４号機は運転休止中であったが、３月１５日水素爆発。近隣住民は避難を余儀なくされた。1986年４月チェルノブイリ原子力発電所事故以来、最も深刻な原発事故。

４．運動を引き継いでほしい人への期待

被爆者の平均は８５歳超、やがていなくなる。広島・長崎・ビキニの被爆者の実相を語り、核兵器の非人道性を訴え、「日本政府の核兵器禁止条約に参加」を求める世論を広める運動（署名など）を！

・国が起こし、国をあげての戦争であったのに、一般被害者へ補償しないのはおかしい。国は、一般被害者への補償をすること。核廃絶をすること。

＊＊　講師との意見交換・会場からの意見

・レジメの２、私の被爆体験をもう少し話して下さい。➡朝食の時間に原爆が落ち、母は身体に飛び散ったガラスが刺さって取るのが大変でした。父は５６年経っても鼻血が止まりませんでした。本人は副甲状腺腫瘍に。２人に１人が癌で亡くなっています。

父は、当時のことを便箋20枚に書き残しています。母は、語りませんでした。

・被爆者が高齢化している中で、被爆二世の会はどうなのでしょうか➡政府は残留放射線はなかったとし被爆二世への補償はなく、癌になるなど後継ぎの集団にはなっていない。

・日本政府が各兵器禁止条約の批准に向けてのオブザーバー参加は、米国の承認がないと出席できないとなっています。

・広島で中学・高校時代を過ごしたので、煉瓦造りの日赤病院の壁に人影が残っていたことなど町の様子を覚えています。８月６日から９日、区庁舎東館で「被爆８０年ヒロシマ・ナガサキの思いを紡いでいこう」～原爆と人間展～に行ってきました。原爆投下直後の写真は、世界の人に見てほしい。

・日本でも核兵器が造れる危険性。そのことへの日本人の自覚の無さ。等々。

＊当日は猛暑の中、講師を含め３０人の参加でした。　　（代田５丁目・事務局・小澤 清子）

アンケートから

１．　渡辺 美佐子さんの紙芝居とお話について、ご感想・ご意見など

・タイトルは、何回も聞いたことのある偵子さんの千羽鶴ですが、紙芝居だと、また、リアルに伝わってきました。
・紙芝居の魅力を感じているこの頃です。多くの世代に届くと思います。胸に来るものがありました。
・昔、作られた紙芝居でしょうか。絵柄も素朴でストーリーもよく分かり良かった。こども達に見せたいですね。
・きれいなお声と紙芝居の絵、すてきでした。子どもたち・若者たちにも見せてください。
・原爆の悲惨さを伝える内容でよかった。（有名なお話を紙芝居をとして）

２．　家島 昌志さんのお話について、ご感想・ご意見など

・圧倒的な重大な話をたくさん聞かせていただきました。
・とても多く学ばせていただきました。被団協・ノーベル賞・被爆の実相・活動の流れ…　わかりやすく伝えていただきました。
・ご自身のことについてのお話や、核の恐ろしさ。各国のトップがボタンを押したら…。普段の生活の中に平和に対する思考を取り入れねば。
・とても内容のある広範囲なお話で、心に響きました。
・長年にわたる活動に敬意を感じ、今後も続けていただきたいと願っています。
・核の恐ろしさを改めて実感しました。

３．　今日のつどい全体について、ご感想・ご意見など;

・岡崎さんのお話の中では、“言論の自由”こそ守るべきだと思いました。
・「知る」ことの大切さを改めて痛感。もっと学び、子ども達にも伝え、輪を広げていかねば、と思います。
・このような大切なテーマをどんどんやってほしい。もっと学習する場がいるな、と思いました。
・参加できてよかったです。平和、戦争、核兵器など考えるヒントをいっぱい頂きました。

４．　九条の会のとりくみについて:

・若い人にも伝わるといいと思います。

５．　その他　（何でも結構です）

・戦争の体験のある人の平均年齢が今や８６歳になっている。少しでも伝承していくことが大切と、ニュースなどで痛感しています。私も B29 のこと、防空壕に入ったこと、食糧難などの経験をしていますので。

原水爆禁止2025年世界大会―長崎へ参加して

テーマは「被爆80年　長崎の集い−被爆体験の継承と未来」

第１日目・「長崎の被爆者運動の歴史と被爆者のたたかい」

田中照巳さんの被爆体験のお話。田中重光さんも被爆体験に加え、スペイン、フランス、へ出向いての被爆者の声を世界はどう受け止めたか」「過去の運動について」などをお聞きしました。

被爆者運動の歴史についても実相についても、まだまだ知らないことがたくさんあると思いました。

第２日目・「緊急企画」ガザ住民支援・非核平和の中東を−エジプト大使に聞く

エジプト大使の「モハメド・アブデル＝モネイム」氏は、核兵器のない平和な中東をいかに実現するのか、外交努力と・対話の大切さを訴える緊急アピールでした。

他、「フォーラム」「分科会」

第３日目・ナガサキデー集会「世界は繋がり、連帯する」

最終日は長崎市民会館体育館。海外からは１５か国から２００名余の参加を含め会場は第二会場もいっぱいの３５００名とのことでした。

特にフランスからは青少年も含め多勢の参加。アメリカ、イギリスなど核保有国からの大勢の参加があったこと、マーシャル諸島からの参加と発言などが印象的でした。

また、２０２５大会は、なんといっても「被団協」が「ノーベル平和賞」を受賞したという特別な年であったこと、「日本被団協」「日本原水協」「原水禁」の３団体が、共同アピールを出したことが、大きな歴史的な特徴だったのではないでしょうか。

それは、田中重光さんはじめ、被団協の方々が、各国を訪問されて「被爆の実相を伝える」長い間のご努力が実ったということでもあります。

今こそ、ヒロシマ、ナガサキで、さらに多くの国の方々がつながり、友人になり、「核兵器のない世界」へ向かって運動を大きく飛躍できるチャンスだと思いました。

そして、「青年たち」「高校生平和ゼミナール」の高校生たち、「親と子の分科会」もあり、運動のバトンを引き継ごうという実行委員会の方々、参加された方々の強い意志を感じたナガサキデーでした。

お世話くださった方々、「カンパ」をくださった方々、ありがとうございました。　　（大原２丁目・年金者組合/北沢分会　森田淑子）

集　会　等　の　紹　介

９月２８日（日）１０：３０～

戦争させない！　９条壊すな！　9・28世田谷区民集会＆パレード

場所　：若林公園（松陰神社となり）

主催　：戦争させない！９条壊すな！世田谷連絡会

１０月２６日（日）１３：３０～１６時ころ **講演会**

講演：前川 喜平さん

場所　：保健医療福祉総合プラザ（うめとぴあ ）会議室

主催　：九条の会まつざわ　共催：代田・九条の会、代沢九条の会

～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち　代田で、
「日本国憲法第９条」をまもり、活かす活動をすすめましょう ～

＋＋＋　このニュースを、ぜひ、周りの人に広めてください。　＋＋＋